令和4年度最終号

りょうじゅきいこん

丹波篠山市立 城北畑小学校 たまみず幼稚園

#### 学校評価:児童・保護者アンケートより

去る12月に、次の10項目について、保護者の皆さまには「教育活動のアンケート」として回答いただきました。児童は「生活アンケート」として答えました。

- ①喜んで学校に行っている。
- ②学校であったことを家庭で話している。
- ③安全に気をつけて並んで登下校できている。
- ④学校の勉強が理解できている。
- ⑤自主的に家庭学習に取り組んでいる。
- ⑥家庭でよく本を読んでいる。
- ⑦体を動かして遊んだり、運動したりしている。
- ⑧近所や地域の人にあいさつをしている。
- (9)朝食を食べている。
- ⑩夜何時に寝ているか。

アンケート全体をとおして、A(あてはまる)、B(だいたいあてはまる)という評価が多く、子どもたちが安定した生活を送ることができていることがうかがえました。特に、「喜んで学校に行っている」の児童の評価が昨年度同様に高かったことを嬉しく思います。

今回は、②と③について、それぞれの課題や改善策をお伝えします。(小学生保護者宛に配付した 2月 | 7日付「城北畑小学校の取組について~保護者・児童アンケートの結果と学校評価の報告~」と 重複する内容です)

#### ②「子どもは、学校であったことを家庭で話している」について

保護者の C (あまりあてはまらない) 評価が 9%と昨年のよりも 2%下がっています。 D (あてはまらない) 評価は昨年度と変わらず 3%でした。

一方、児童による評価を見ると、C評価が 17%、D評価が 5%でした。このことから、家庭内のコミュニケーションにおける保護者の認識と子どもの認識に差が生まれており、子どもは家で保護者が思っているよりも話をしていない(できていない)と捉えていることが分かりました。

保護者としても個人懇談等で、「子どもが家で学校のことを話してくれない」「『楽しかった。』『普通だった。』と、漠然とした答えしか返ってこない。」という声もあり、家庭における会話に課題を感じられている方もいらっしゃるようです。家庭における、親子のコミュニケーションについて、日ごろから表情や態度などをよく見ておく、忙しくてもほんの少しでいいので手を止めて顔を見て話を最後まで聞く、子どもの考えを否定せず「なるほど、そう思ってるんだね」と受け止めるといったことを意識してみてください。

#### ③ 登下校について

保護者や地域の皆様には、登下校を見守り、声かけをしていただいたり、気づいたことをお知らせいただいたりして、安全に集団での登下校ができるようにお世話になっています。

登下校中に困ったことがあると、地区で話し合いの時間を

③子どもは安全に気をつけて並んで登下校できている。
3年12月保護者
52
3年12月保護者
4年12月保護者
4年12月児童
55
37
38
3 □A
□B
□C
□D

取ったり、下校指導をしたりしています。また、学期のはじめと終わりの校外児童会で地区ごとに話し合い、登下校のめあてや並び方を決め、振り返りをしています。アンケートの結果では、保護者も児童も A評価が昨年度より下がっていました。低学年から高学年の児童が一緒に登下校する中での、 子どもたちの思いや頑張りを受け止めながら、今後も指導していきたいと思います。

毎年メンバーが入れ替わり、学年が一つ上がって、受け継がれていく異年齢集団での登下校では素晴ら しい社会性を身につけることができます。荷物を持ってもらったりしながら、一所懸命について歩いていた子 も、高学年になって下級生に声をかけ、連れていくようになります。成長を見守りながら、お声がけをよろしく お願いします。また、ご家庭では、低学年のお子様が自分で学校まで持てる荷物の量か、気にかけていただ けると助かります。

#### 園評価:保護者アンケートより

幼稚園の保護者の皆さまには、1月に次の13項目についてお尋ねし、お答えいただきました。

- ①子どもは、幼稚園に行くことを楽しみにしている。
- ②子どもは、幼稚園で自分の力を十分に発揮している。
- ③子どもは、身の回りのことを自分でしようとするようになってきている。
- ④幼稚園は、園の教育方針や保育のねらい、子どもの様子を、園だより・行事・参観日をとおしてわかりやすく伝えている。
- ⑤幼稚園は、子どもの発達に応じた経験ができる ように、様々な活動(絵画、制作、音楽、運動遊び など)をバランスよく行っている。
- ⑥幼稚園は、身近な自然と触れ合う活動を多く取り 入れている。
- ⑦幼稚園は、地域の人々や他園の幼児など、人と 関わる力を育てるための活動を行っている。

- ⑧幼稚園は、就学前教育と小学校教育との接続を考え、日常的な活動や行事等において、幼小連携を行っている。
- ⑨幼稚園の職員は、登降園時や個人懇談などの機会に、子どものことについて気軽に相談に応じている。
- ⑩幼稚園の職員は、子どもをよく理解し、一人一人の性格や特性などに配慮しながら指導を行っている。
- ①保護者と幼稚園とが、連携して行事等がすすめられている。
- ②幼稚園は、建物や遊具などに子どもに合わせた安全 対策を行っている。
- ③幼稚園は、ホームページや学校園だよりをとおして情報を発信し、地域に幼稚園教育のよさを理解してもらう活動を行っている。

ほぼ全ての項目について、A(あてはまる)またはB(だいたいあてはまる)という評価でした。しかしながら、⑨につきまして、唯一、C(あまりあてはまらない)評価がありました。このことを真摯に受け止め、登降園時をはじめ保護者とお会いできる機会には、より積極的に丁寧にお声かけしたいと思います。園児の園での様子を伝えたりご家庭での様子を尋ねしたりしながら、これまで以上にコミュニケ

ーションを図っていきます。そして、家庭と園が連携して、子どもの自立心や豊かな 感性と表現を育てていきたいと考えます。

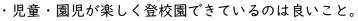


アンケートの最後には、「楽しく登園できています。」「コロナ禍で制限がある中、子どもたちに楽しい思い出を残してく

ださって感謝しています。」という記述もありました。保護者の皆さまのご理解・ご協力のもと、子どもたちが楽しくいろいろな活動をすることができていることに心より感謝いたします。

## 学校園関係者評価より

2月 | 7日(金) 参観日・学級懇談会後に、城北畑コミュニティ・スクール運営委員会を開催しました。今年度の学校園の取組をふり返ったり、保護者、児童へのアンケート結果についてお伝えしたりして、委員の方々から学校園関係者として次のような感想やご意見をいただきました。



- ・学校園だよりや学校園ホームページで見る様子から、園児たちがのびのびと楽 しく過ごしていることが分かる。
- ・小学生の時期にこそ、多くの本に出会って読書をしてほしい。今後もいろいろ な取り組みを続けてほしい。
- ・がんばりタイム(5・6年生の希望者対象の放課後学習)では、放課後残ってでも学習しようという児童のやる気を大切にしたい。しかし、人数や学力差などによって、個に応じた指導が難しい部分もある。
- ・児童会が I O 周年記念プロジェクトとして誕生させたキャラクターを記念品や 看板に使っているのはとても良いこと。 裏面もご覧ください

## 4月の主な行事予定 (案) ※新年度初めに協議し、変更する可能性があります

日	曜	主な行事等	日	曜	主な行事等
ı	土		16	日	
2	日		17	月	人権・安全朝会 (幼) お弁当日
3	月	春休み	18	火	6年生:全国学力調査(国語・算数) 5年生:市学力調査(国語・算数) (幼)給食開始
4	火	小学校:~4月6日(木)	19	水	
5	水	幼稚園:~4月9日(日)	20	木	
6	木	城北畑小学校創立記念日	21	金	参観日·学級懇談会 PTA 総会
7	金	登校指導 対面式 2~6年生:第   学期始業式 PTA 三役·部長会   9:00	22	土	
8	土		23	日	
9	日		24	月	学校朝会
10	月	人権の日 (幼)第   学期始業式 入学式	25	火	短縮授業日家庭訪問①
11	火	2~6年生:給食開始	26	水	短縮授業日 家庭訪問②
12	水	(幼) 入園式 5·6年生:委員会活動 PTA 役員会①19:00	27	木	(幼) お誕生日会
13	木	年生:給食開始 校外児童会 下校指導	28	金	短縮授業日 避難訓練 引き渡し訓練 家庭訪問③
14	金	交通安全教室 安全点検	29	土	昭和の日
15	土		30	日	

# 





【園児と6年生の交流】「えいごであそぼう」 【 | 年生が年長組園児を招待「ようこそ小学校へ」】

### 一年間、ありがとうございました

城北畑小学校創立IO周年を迎えた今年度、児童会キャラクター・プロジェクト、PTAによる 倉庫設置、IO周年記念事業実行委員による記念クリアファイル制作やDVD制作などを通して、 これまでの歩みをみんなで振り返り、お祝いすることができました。「あいさつ」「俳句づくり」「お 苗菊栽培」。初代校長 足立明典先生が掲げられた校訓「良樹細根」。これからも児童と教職員全員 で心と力と知恵を合わせて、保護者や地域の皆さまにお力添えいただきながら、これらの良き伝統 をしっかりと引き継いでいきます。

あとになりましたが、保護者の皆さま、地域の皆さまには、本校園の教育活動にご理解、ご協力いただきましたこと、心より感謝いたします。地域・家庭・学校がともに取り組むあいさつ運動では、多くの方にご参加いただきました。黒豆やお苗菊の栽培、クリンソウ学習、川調べなどでは、地域の方に直接ご指導いただきました。これらの活動や体験的な学習は、児童のみならず教職員にとりましても、地域の良さや地域の方の力を知る貴重な機会となりました。

コロナ禍のため、ひとつひとつの行事や活動について状況に応じた対策や実施方法を検討しながら取り組みました。地域の皆さまにご来校・ご来園いただいて、子どもたちの様子を見ていただくことができなかったことが残念でした。今後、また以前のように多くの皆さまにお越しいただいて、子どもたちの様子を見ていただいたり、一緒に活動していただいたりできるようになればと思っています。

今後ともどうかよろしくお願いいたします。



【校長室に掲げている校訓】



【毎月行っている「あいさつ運動」】



【毎月おこなっている「俳句づくり」】

※毎年 | 回目は、 6年生が | 年生をサポートします





【お苗菊栽培】

【児童会キャラクター・プロジェクト】